



広 報

下之郷

No. 90

発行日 2012. 9. 14

編集 発行 郷づくり広報部会

発行責任者 下之郷区長

＝自然を愛し 人を愛する
豊かな心を 育てよう＝



とうもろこしの収穫作業 7. 21

目次:

夏も元気だ「しものごっこ」・ラジオ体操・交流会	1
町少年少女スポーツ大会第3位入賞・地蔵盆	2
とうもろこし大豊作・第29回甲良町夏祭り	3
ちびっこ環境保全隊・サルビア花壇コンクール	4
戦没者功労物故者追弔会・人権よもやま話◎	5
ふるさと大発見「水争い」	6
短歌・漢字クイズ・ちょっとひとこと・懐かしの風景	7

私たちの区

2012. 8月1日現在

*戸数	228戸
*人口	男 358人
	女 391人
	計 749人

夏も元気だ「しものむすび」

ラジオ体操で始まった子どもたちの夏休み。いろいろなイベント盛りだくさんで、子どもたちの笑顔があちこちではじけています。



【ラジオ体操】

6時過ぎ、子どもたちは元気にスポーツ公園に集まってきました。地域の大人もラジオ体操に参加しようという呼びかけに応えて約60名の大人の方が参加してくださいました。
6年生の手本の動きを中心にみんなで体操し、気持ちの良い朝のスタートを切っています。



【ひまわり会で お年寄りとの交流】



7月31日、又「ひまわり会」に子どもたちも参加しました。
辻春都君の落語独演会に始まり、肩たたきゲームやじゃんけんゲームなど楽しいゲームの連続で子どもたちもお年寄りも笑顔いっぱいでした。
はじめての試みでしたが、とても楽しいひとときでした。



下之郷Cチーム 第3位入賞



7月22日(日)、甲良中体育館で、甲良町少年少女スポーツ大会が開かれ、下之郷からは4チームが参加しました。
予選リーグでは3チームが1位通過という好成績で、チャンピオン杯決定戦に出場しました。その中で、C



老人クラブとの交流



地蔵盆



老人会の皆さんの手芸作品展示

8月5日(日)は老人クラブとの交流会が開かれました。低学年の子どもたちは、集会所2階でお年寄りとのペアになってゲーム大会。高学年の子どもたちは、スポーツ公園でグランドゴルフを楽しみました。
お年寄りとの交流が深まった夏になりました。



夏の最大イベント「地蔵盆」が8月18日(土)に行われました。午後から激しい雷雨に見舞われる場面もありましたが、地蔵堂前にいろんな出店が開かれ、盛り上がりました。役員さん、お疲れ様

やっもろこし大豊作

「下之郷のやっもろこしはじまじまじ。」

と、今では区外にも高く評価されるようになった郷づくしのイベント部会産やっもろこし。

今年度は、昨年度の実績をもとに、年度当初から緻密な計画をたてて栽培に取り組んできました。

その結果、3000粒播種して、2400本ものやっも



ろこしが収穫できました。消毒も適正になされていたので不良品はほとんどなく、しかも、収穫の適期とされる播種から83日目に収穫されたので、甘くてみずみずしく生のままで食べてもおいしく、ほじ質の高いものになりました。

区内の販売高も過去最高、夏祭りでの販売も、売上げはついに前年を上回りました。

これまでのイベント部会の皆さんのご努力に厚くお礼申し上げます。



集会所での販売風景



収穫体験をする小学生

第29回甲良町夏祭り



7月28日(土)、甲良町役場の広場で夏祭りが開かれ、当区からは恒例の焼きとうもろこし販売とスーパーボールすくいの出店をしました。例年なら夕方からしか売れないとうもろこしが昼間から順調に売れました。スーパーボールすくい延べ207人、とうもろこし売り上げ456本という盛況ぶりでした。



下のスポーツ公園付近の排水
川の水質を比べて水の汚れ具
合を調べるのです。
8月5日(日)、小中学生がそ
の調査を行ってくれました。
結果は、川下で測定しても、
川上の水質とそれほど差が

ちびっこ 環境保全隊

川上の石原
溝の水質と、川
環境保全隊
活動のひとつ
に水質調査が
あります。

水質の向上した川



ないことが分かりました。
下水道が整備されたことに
加え、水環境を守ろうとする
区民の意識が高いことが水質
向上につながっているのだと
言えます。
また、8月18日(土)には、
スポーツ公園付近の川の水生
生物調査を小学生のみんな
で行ってくれました。ザリガ
ニに混じってメダカもいまし
ています。今後も水質向上



を図り、たくさんの魚が泳ぐ
川に戻したいものです。



サルビア花壇コンクール



↑ 2組花壇
→ 18組花壇
← 4組花壇

8月25日(土)、サルビア花壇コンクール審査が行われました。今年は、日照りの夏にも関わらず手入れの行き届いた花壇が多く、見応えがありました。選考の結果、2組と18組が同点で金賞、銅賞には4組が選ばれました。

人権啓発作品募集

9月1日～30日は同和問題啓発強調月間です。町から人権啓発作品募集の案内がきていますので、ぜひご応募ください。

応募された方全員に、下之郷区人推協から粗品を進呈し、広報紙面に作品を掲載させていただきます。

【募集作品】

- ① 人権啓発標語
- ② ポスター
- ③ 詩
- ④ 作文
- ⑤ 手記
- ⑥ その他人権に関する内容

* 9月30日(日)までに農事集会所へご提出ください。

戦没者・功労物故者追弔会



8月15日(水)、戦没者功労物故者追弔会が執り行われました。墓地での総墓戦没者法要の後、念称寺で功労物故者法要が営まれ、区役員、遺族の方々が参列されました。戦後67年が過ぎ、大半の者が戦争を知らない時代になりましたが、悲惨な戦争の事実は語り継がねばなりません。



人権よきやま話

「遺族」

私の家では伯父(父の兄)が昭和20年3月に北支方面で戦死しています。その関係で、私は今年遺族会の下之郷の役員をさせていただきます。8月3日に大津市の膳所公園で行なわれた「平和記念滋賀県戦没者追悼式」に代表遺族として参列をさせていただきました。

私も初めて知ったのですが、膳所公園には滋賀県の「英霊塔」があつて、毎年ここで戦没者の追悼式が行なわれています。参列者は千人をかぞえ、知事をはじめ多くの来賓を迎えて厳かに法要が営まれました。テントの後ろの席に座っていると、彦根の護国神社だったと思うのですが子供の頃におじいさんおばあさんに連れて行ってもらった、同様の式典のことを思い出しました。

滋賀県では、三万三千柱

の英霊がおられるそうです。ちなみに、下之郷には何人の戦没者がおられるかご存じでしょうか？下之郷の墓地と尼子の墓地との境に、下之郷戦没者の共同墓地があります。お墓は38柱、40名の戦死者の名前が

刻まれています。200戸の村に40名の戦死者…先の戦争がいかに悲惨な結末であつたかを物語っています。

以前、私はここで「戦争こそ最大の人権侵害」と申し上げていました。人を殺すという事は、殺される人の人権を抹殺することです。私は、いかなる理由があるにせよ、人が人を殺める事には賛成しかねます。いまだに、世界各地では、言語の違いや宗教の違い、国の利益や国の誇り、民族の誇りをかけて、銃弾が飛び交っ



ています。これは、私個人の意見ですが、宗教にしろ言語にしろ、人がこの世に生を受けてから身につけるものです。まして、民族や国家ともなれば、個人が集まって初めて形成されるものだと思うのです。そのようなことに、地球より重いといわれる大切な命をかけることに矛盾さえ感じます。

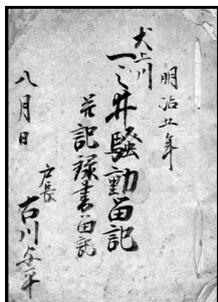
最近、尖閣諸島や竹島の領土問題で中国や韓国との間にキナ臭い二言一語がしています。日本の国益や、日本人の誇りを理由に過激な発言をする人も少なくありません。しかし、私は「腰抜け」と言われても、今こども子供が戦争に取られるような事になればと思つて、とても心が痛みます。どうか、平和的な解決がなされることを祈るばかりです。

甲良町人権問題啓発
指導員 藤尾 桂三

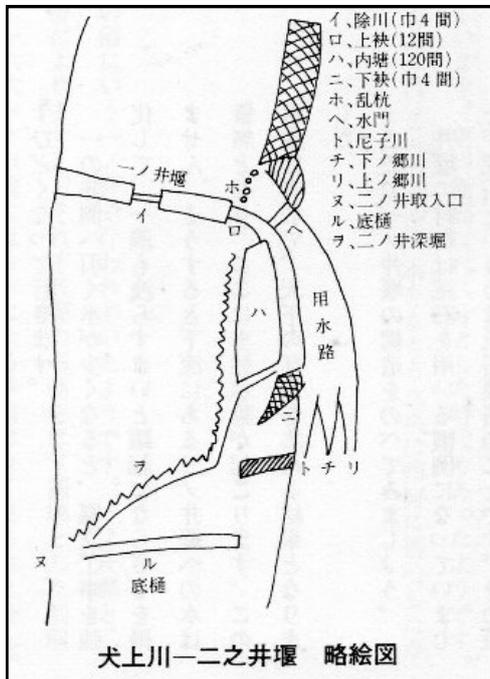
水争い

見茶火と水争い

今年の夏もひどい日照りの年になりました。しかし、平成6年の大干ばつその後、ダムの水管理がきめ細かく行われるようになり、また緊急時の灌漑用井戸が整備されたこともあって、水不足の心配もなく爽やかな秋を迎えようとしています。しかし、長い歴史の



中ではこうした幸せな時期はほんのわずかで、先代々々いつも水に苦しんできたのでした。犬上川を挟んで北の多賀側と南の甲良側で水の配分をめぐる争った記録「一ノ井騒動日記」が古



犬上川一ノ井堰 略絵図

川吉男氏宅に保存されています。二ノ井とは金屋地先にあつた井堰いせきです。犬上川を井堰でせき止めて甲良側に水を送ります。一方多賀側は、井堰の真ん中にある「除川」や「下袂」から流れ落ちる水と、井堰の石のすきまから洩れる水を下流の「二ノ井堰」でせきとめ用水

とする、という配分の仕方になっていました。水不足の年は、少しでも水洩れをおさえたい甲良側、水洩れを増やしたい多賀側ではげしい水争いが起きました。敏満寺側の者が毎晩、井堰を切り落とすに來るので困っています。」と県庁に訴える訴状が繰り返して出されていることが記録に残っています。一方、敏満寺史には、種村儀平氏が次のように書かれています。

私の子どもの頃の思い出ですから、たぶん大正13年のことであつたと思うのですが、早鐘がインと鳴りますと、村中から男という男は福成寺に集まります。かがり火が赤々とたかれます。付近の藪では手頃な竹を切つて竹槍をつくります。竹の先をとがらせて、火であぶつてあぶらをぬき、鋭く磨き上げます。役員の家では女を中心に炊きだしが始まっています。たきあがつた飯は一つ一つ大きな握り飯にされてどこかへ運ばれていきます。



平成6年8月 干ばつでひび割れた田んぼの状況と雨乞い祈禱の様子

「こつした厳しい暮らしは過去のことではもつ心配無用なのでしょつか? 平成6年の大干ばつとき、最後に区民がしたことは雨乞いの祈禱」でした。

短歌欄

朝まだき畑に鴉と追い駆けつゝ西瓜に網張りのいまなき今日
 緑濃き野山を雨が濡らしめく紫陽花のみが明るく浮きたつ
 放送を聞きながらアマトアマト買ひに行へ苦勞もせず有り難きかな
 紫陽花はアマトアマト今日アマト今日アマトを飾らん十問の一隅
 もつ二度とまねぬ今日を前向きに感謝の心を常に抱きて

上野 りゑ
 川並 千町
 藤居 和子
 上野 フサ
 川並みよ子

正解者

- 藤居 和子 さん
- 川並 千町 さん
- 上野 りゑ さん
- 古川 きさ さん
- 田中 智賀子さん
- 西堀 利江 さん
- 木村 和 さん
- 辻 好子 さん
- 安澤美佐子 さん
- 西堀はつ子 さん



漢字クイズpart5 ④

以 □ □ ①
 □ 味 退

意 □ □ ②
 □ 画 式

人 □ □ ③
 □ 近 食

声 □ □ ④
 □ 日 星

秘 □ □ ⑤
 □ 石 庫

前回の答えは「①名 ②成 ③手 ④日 ⑤白」でした。

次の3つの□に共通して入る漢字は何でしょう。
 全問正解の方には粗品を進呈します。
 応募は「応募ください」(締め切り 9月末日)

ちよっぴひひひ

・茄子がやっと採れるようになりま
 した。今年は天候のせいか生育が悪
 く、前の茄子を捨てて植え替えまし
 た。何十年も作っていますがこんな
 年は初めてです。来年もこんなこと
 が無いことを祈っています。

・朝のラジオ体操もいい気分です
 ね。子どもたちと一緒に古いの身に
 鞭打ちながら最後の一週間もがんば
 るうと思えます。

・この頃畑の収穫前の野菜がこっそ
 りとなくなります。それぞれの小さ
 な家庭菜園の丹精込めた物を夜の間に
 盗る心無いしわざに悲しくなりま
 す。

・広報編集集長様には大変ご苦労さま
 です。高齢者にとりましては新時代
 の様子を知らせていただき大変喜ん
 でいます。

・例年がない暑い日が続いて大変で
 す。気をつけていきましょう。

編集後記

暑い暑いと言いつつや
 秋の気配も漂い始めました。田んぼ
 では早生品種の刈り取りも始まって
 います。今年の米の作況指数はやや良
 とで農家の方はほっとされていると
 いう。今年度も後半に入ります。今後とも活気あ
 る郷づくりにご支援と協力をお願いします。



川並千町さんから提供いただいた写真です。昭和35年4月16日の春祭り、二階堂山
 で踊った女の子たちや当時の青年団員の方が写っています。
 さて、この中に写っている人は誰でしょう。何人言えますか？

懐かしの風景 ⑪